

資料 2

中部様式 1

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 菰野町地域公共交通会議

平成20年4月23日設置

フィーダー系統 平成28年6月29日 確保維持計画策定



### 評価の体系

毎年1月頃開催する協議会にて事業内容を検証し、次年度の事業の見直しに反映

### 評価指標

地域内フィーダー系統の目標設定方法は下記のとおり

29年度までの目標値は、H27.4月からH28.3月の同一路線、同一区間の実績を基に年間輸送実績を目標値に設定

目標値を実績値にかい離があるため、平成30年度当該計画からは、次の目標値に見直しを実施

目標値 = 前年度の4月～3月の対象路線の乗車人員

×対象路線のフィーダー補助対象便の走行距離計 / 対象路線の総走行距離計

H31.3月目途に策定予定の網形成計画では、町内の公共交通である鉄道、地域間幹線系統（四日市福王山線）、あいあい自動車等の利用状況を的確に把握し、近年の利用実績を基に目標の設定を目指す。

#### ■ 菰野町地域公共交通に関するあり方検討会の開催

- ・ 町内の交通事業者、地域住民、社会福祉協議会、中部運輸局三重運輸支局、学識経験者等により構成される標記の検討会を開催し、各公共交通機関の実績や利用者からのアンケート、ヒアリング等の結果を報告し、菰野町内の地域公共交通の町民アンケートの実施に関する協議を行った。(H28.12月)
- ・ 下記の町民アンケートの実施結果を報告し、今後の進め方の協議と学識経験者から菰野町に最適な交通体系の私案についての説明があり、協議を行った。

(H29.5月)

【対象】 町内在住の15歳以上の方 1,050人

【目的】 菰野町の地域公共交通のあり方の基礎資料とするため

【内容】 ・ 自動車の利用状況について  
 ・ 公共交通の利用状況と満足度について 等

【実施時期】 H29.2月下旬～3月下旬

#### 菰野町内の地域公共交通に関する町民アンケートのお願い

日頃は、町行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
 菰野町には、現在、電車、路線バス、コミュニティバス、タクシー、平成28年2月開始の大羽根園、川北をモデル区域とした「菰野町あいあい自動車事業」といった地域公共交通機関がありますが、より効率的な運行体系の確立と、高齢化の進展に備え、高齢者など移動制約者の方の移動手段の確保が必要と考えております。  
 本アンケートは、今後の当町の地域公共交通のあり方の検討のための基礎資料として、町民の皆様の利用状況や意識を把握するために実施するものです。  
 本アンケートにご回答いただく方として、町内の15歳以上の方から1,000名を抽出しております。ご回答いただいた内容は統計データとし、個人情報は破棄し、外部に漏れることはありません。  
 お手数をおかけいたしますが、本アンケートの運営をご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

平成29年2月

菰野町長 石原正敬

○このアンケートは、できる限りあて名の方がご記入ください。  
 ○ご回答は、段ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。  
 ○ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、  
 3月24日(金)までにお近くのポストに投函してください。

【アンケートに関するお問い合わせ】  
 菰野町役場 総務課 安全安心対策室 TEL 059-391-1102  
 FAX 059-394-3199

#### ■ 地域公共交通会議をH29.4月から「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定協議会を兼ねた組織に改正を行った。

## 地域内フィーダー系統及び地域間幹線系統に関する自己評価

## 地域内フィーダー系統（目標値：年間利用者数）

路線名	目標 (人)	実績 (人)	増減値	対目標値	達成状況
(1)神森福王山線	20	2,601	2,581	13005.0%	達成
(2)潤田福王山線	2,200	1,422	-778	64.6%	未達成
(3)潤田福王山線	900	1,205	305	133.9%	達成
(4)竹永小島線	700	1,248	548	178.3%	達成

路線名	H28実績(人) 【参考値】( )	実績(人) 【再掲】	増減値	対H28実績
(1)神森福王山線	2,576	2,601	25	101.0%
(2)潤田福王山線	1,318	1,422	104	107.9%
(3)潤田福王山線	1,116	1,205	89	108.0%
(4)竹永小島線	779	1,248	469	160.2%

( ) H28実績の値は11か月間の運行のため、12か月間の運行を仮定した参考値を記載  
(参考) H29年度コミュニティバス利用実績 59,652人(前年度比 5.0%増)

## 地域間幹線系統（四日市福王山線）の利用状況

年度	H25	H26	H27	H28	H29
利用者数(人)	153,607	152,233	153,331	146,125	145,539

### 地域内フィーダー系統の目標達成状況に関する考察

路線(1)：前年度の増便により利用者数が増加。対H28実績では微増

路線(2)：前年度の運行見直しの際、目標値の設定に問題があった。対H28実績では朝の増便による利便性向上により利用者数が増加

路線(3)：前年度の運行見直しによる夕方の増便による利便性の向上により利用者数が増加。対H28実績でも利用者数が増加

路線(4)：前年度の運行見直しによる朝夕の増便による利便性の向上により利用者数が増加。対H28実績でも利用者数が大きく増加

### 今後の課題

- ・地域内フィーダー系統は昨年度の実績に比べ、利用者数が増加となっているが、地域間幹線系統である四日市福王山線の利用者数は減少となっている。

## あいあい自動車の自己評価

## あいあい自動車の利用状況

大羽根園（H28.2.1運行開始）

運転登録者数 9名（H29.11.1現在）

		時間	対価（円）	距離（km）	運行数	旅客実数	登録者数
H28	10月	6時間 45分	17,500	98.1	35 (5)	8	10
	11月	6時間	12,000	71.6	24 (12)	9	10
	12月	15時間 15分	31,000	153.4	62 (29)	7	10
H29	1月	13時間	26,000	133.9	52 (0)	8	12
	2月	15時間	30,000	156.2	59 (0)	7	12
	3月	16時間	32,000	170.8	63 (4)	7	9
	4月	13時間	26,000	129.7	52 (3)	6	9
	5月	14時間	28,000	129.2	56 (3)	9	9
	6月	12時間 45分	25,500	97.1	51 (1)	6	9
	7月	11時間 45分	23,500	110.4	47 (0)	6	9
	8月	14時間 30分	29,000	133.7	58 (4)	8	9
	9月	10時間 15分	20,500	100.2	41 (2)	6	9

運行数のカッコ内の数字はコールセンターへの予約による運行数

川北（H28.5.23運行開始）

運転登録者数13名（H29.11.1現在）H29.4月に1運行のみ

### 今後の課題

- ・ あいあい自動車は、大羽根園では1か月当たり40～60運行と一定の利用があるが、川北では利用がほとんどなく、原因として、川北の主な生活圏である隣接市の四日市市への利用ができないことなどが考えられる。
- ・ あいあい自動車の利用料金について、1乗車500円であるため、相乗りにて安価に利用でき、既存の交通機関への影響やあいあい自動車の収支の悪化につながる懸念される。

### ■ 今後の対応方針

コミュニティバスは、鉄道等のダイヤ改正や利用者、バス乗務員等からの意見を踏まえ、必要に応じてダイヤ改正を実施する。

下記の点を踏まえ、H31.4月の運用を目指し、地域公共交通網形成計画の策定に取り組む。

- ・ 高齢者等、移動制約者の移動手段の確保
- ・ 通勤・通学の利便性の向上
- ・ 観光目的等の来訪者への移動手段の提供

また、当該計画の策定に当たっては、下記の点を重点的に協議する。

- ・ コミュニティバスの幹線への集約に向けた検討
- ・ 地域間幹線系統、地域内フィーダー系統等の乗り継ぎ拠点の選定
- ・ あいあい自動車の実施エリアの選定及び運行エリアの検討
- ・ あいあい自動車の料金設定についての検討
- ・ 既存の交通機関を補完する乗り合い等による新たな交通手段の検討
- ・ さまざまな交通機関の利用予約、配車等が可能なシステムの導入に向けた検討

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 菰野町地域公共交通会議

平成20年4月23日設置

フィーダー系統 平成28年6月29日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィーダー系統の目標値が実績値とかい離している。</li> <li>・本省様式で評価Cについては、路線を区分するなど評価の見直しをすること。</li> <li>・目標設定を含め、評価の記載を見直す必要がある。</li> </ul>	H30年度の地域内フィーダー確保維持計画において、目標値の見直しを実施	見直した指標を基に今後評価を実施
町民アンケートにより、交通弱者にとってどのようなサービスが必要かを探り、「あり方検討会」を活用して、効率的で持続可能な、菰野町にとって最適な交通体系を構築すること。	町民アンケートを実施し、結果を基に「あり方検討会」及び「地域公共交通会議」にて今後の公共交通のあり方について協議を実施	菰野町の地域公共交通網形成計画の策定に向け、既存の公共交通の見直しとそれらを補完する交通手段の運行を目指し、協議を進める。
利用者数の減少傾向にあったコミュニティバスの見直しが行われ、通勤・通学ダイヤの増便や鉄道、高速バスのアクセス向上を図り、利用者増加に繋がったことは評価する。	コミュニティバスの運行見直し後、乗り継ぎ等の利便性向上のため、利用者及びバス乗務員の意見を基にH29.10月にダイヤ改正を実施	協議会、利用者等からの意見を基にコミュニティバスの利便性向上につながる取組を引き続き検討する。

### ■ あいあい自動車の利用促進に向けた取組

- ・ 大羽根園にて「あいあい自動車茶話会」を開催し、使い方の説明や試乗会を実施。あいあい自動車の利用促進につながった。
- ・ 川北にてあいあい自動車の試乗会を実施し、登録者数が増加した。



菟野町おでかけお助けサービス

回覧

## あいあい自動車

でお買い物に行ってみませんか？



菟野町社会福祉協議会の運営する予約制あいのり車、

「あいあい自動車」が川北で走り始めてもうすぐ1年が経ちます。

地域住民同士で支え合う移動の形の「あいあい自動車」をより知っていただくために、このたび無料体験していただける機会を設けました。

いま移動に困っている方。  
あいあい自動車に興味がある方。  
まとめて買い物したいという方。  
大歓迎！



#### 対象

あいあい自動車を使ってみたい方、  
既に利用されている方

- あいあい自動車を体験していただけます！
- あいあい自動車の説明を直接受けられます！

■ 期間中は**何度でも無料**でお使いいただけます！

#### 期間

2017年3月13日(月)～3月18日(土)

午前の部：9時頃出発 - 11時半頃 帰宅

午後の部：13時頃出発 - 15時半頃 帰宅

#### 行き先

- ① サンシ・イオンタウン
- ② 一号館・ミスタートンカチ
- ③ ピアゴ・コメリ

※ ①～③までのお好きな行き先をお選びください

#### 問合せ

菟野町社会福祉協議会 担当：松永  
☎・059-394-1294

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月15日

協議会名: 菰野町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

補助対象事業者等	事業概要	前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
三重交通株式会社	日中バス 1コース 神森福王山線 菰野駅前発 福王山着	目標の設定と実績がかい離したことから、H30年度の計画から見直しを実施	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	A 目標値に対する利用者は13005.0%であり、目標値を大きく上回った。 (参考)対H28実績 101.0%	前年度の増便により利用者数が増加。対H28実績では微増
三重交通株式会社	通勤・通学バス 6コース 潤田福王山線 福王山発 菰野東着	目標の設定と実績がかい離したことから、H30年度の計画から見直しを実施	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	C 目標値に対する利用者は64.6%であり、目標値を大きく下回った。 目標値の設定方法に問題があった。 (参考)対H28実績 107.9%	前年度の運行見直しの際、目標値の設定に問題があった。対H28実績では朝の増便による利便性向上により利用者数が増加
三重交通株式会社	通勤・通学バス 6コース 潤田福王山線 菰野駅前発 福王山着	目標の設定と実績がかい離したことから、H30年度の計画から見直しを実施	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	A 目標値に対する利用者は133.9%であり、目標値を上回った。 (参考)対H28実績 108.0%	前年度の運行見直しによる夕方の増便による利便性の向上により利用者数が増加。対H28実績でも利用者数が増加
三重交通株式会社	通勤・通学バス 7コース 竹永小島線 小島集落センター 菰野駅前	目標の設定と実績がかい離したことから、H30年度の計画から見直しを実施	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	A 目標値に対する利用者は178.3%であり、目標値を上回った。 (参考)対H28実績 160.2%	前年度の運行見直しによる朝夕の増便による利便性の向上により利用者数が増加。対H28実績でも利用者数が大きく増加

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月15日

協議会名:	菰野町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>菰野町では、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、公共交通空白地有償運送によるあいあい自動車などの交通機関が運行しており、高齢者等の移動制約者の買物、通院等のための利用、通勤・通学のための利用に加え、来訪者の移動手段といった目的でそれぞれ利用されている。</p> <p>今後はこれらの交通機関とこれらを補完する新たな交通機関を合わせた当町に最適な交通体系に構築を目指している。</p> <p>また、地域公共交通会議を「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定協議会を兼ねたものに組織改正を行い、H31.3月を目途に地域公共交通網形成計画の策定を目指している。</p>